

名水会たより

令和2年8月
Vol.015

大泉名水会広報



(前列の椅子にお座りの8名の方々が新委員です。)

大変遅くなりましたが、改めて、
「令和2年度大泉名水会新任委員」
の皆様を紹介致します。

皆様ご存じの通り、コロナの猛威が騒がれる6月14日（日）、平成2年度「第3回定例委員会」が開催され、新たに8名の方々がメンバーに加わりました。

本年度はこの委員会で、皆様の「名水会」を運営して参ります。
皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

撒水

コロナの夏のささやかな避暑気分

■ 「Go To○○」が、叶わない今年の夏

エアコンの部屋にとじこもるのも結構ですが、水を撒いて、涼しい避暑地を我が家に呼び寄せましょう。

水を撒けば気化熱をうばい、その周りの気温が $1^{\circ} \sim 3^{\circ}\text{C}$ ほど下がります。爽風が流れ、土埃も静まります。

コロナ対策の一つ“密閉”を避けるために、エアコンで閉め切った窓を開けて、涼しくなった空気を入れましょう。

■ 効果的に撒水するには――

何時撒いたら？ ギラギラ照りつける日中は水を撒いてもすぐ蒸発してしまいます。太陽が西に傾いたら、水まきを始めましょう。

何処に撒いたら？ 植え込み、芝生、テラス、ベランダ花壇、何処でも。空気を入れ換える部屋の前ならさらに効果があると思います。

ついでに、エアコンの室外機にも撒水すると、効率良く働いて節電に役立ちます。

撒くのは何で？ ジョーロでもホースでも、古風に柄杓でも。広く撒けるなら何でも結構。



■ たっぷり撒きましょう

避暑に行くことに比べれば、水のなんと安いことか。思い切ってたっぷり撒きましょう。

さあ、撒水でコロナと猛暑をやり過ごしましょう。